

2023年2月20日

東洋大学産学連携プロジェクトから生まれた ホトケノザの花酵母を使用した非常に珍しい 日本酒「越生梅林 エスティ」

有限会社佐藤酒造店（埼玉県越生町）より 2月23日から数量限定で発売

東洋大学（東京都文京区／学長 矢口悦子）の理工学部生命工学研究室と有限会社佐藤酒造店（埼玉県越生町／代表 佐藤忠男）が産学連携事業で開発したまったく新しいコンセプトの日本酒「越生梅林 エスティ」を2月23日から販売（数量限定）されます。

▼商品概要

商品名：「越生梅林 エスティ（おごせばいりん えすてい）」
内容：日本酒（純米吟醸 生貯蔵酒 精米歩合 60%）
濃醇辛口／アルコール分 15度／日本酒度 +4.0度
原材料：米（彩のきずな・埼玉県産米）、米こうじ（国産米）
発売日：2023年2月23日
販売価格：2,000円（税込）
内容量：720ml
販売本数：500本（シリアルNo.入り）
販売場所：

- ・佐藤酒造店（埼玉県入間郡越生町大字津久根141-1）
- ・ネット販売 佐藤酒造店通販サイト
(<http://www.satoshuzou.co.jp/eshop.html>)
- ・2022年度よりスタートした本学卒業生が代表を務める
企業の返礼品つき募金「Team TOYO募金」での取り扱い
も予定 (<https://kifu.toyo.ac.jp/howto/gift>)



▼製品の特徴

「越生梅林 エスティ」は、応用微生物学を研究する東洋大学理工学部・峯岸宏明准教授が本学卒業生で専務を務める埼玉県越生町の佐藤酒造店とタッグを組んで発売された、新しいコンセプトの日本酒です。

酒酵母は糖を好むため特に果実や野菜などの表皮に付着していますが、峯岸准教授は自然界で糖が存在する花に着目し、花から分離された花酵母の研究をスタート。峯岸准教授・本学理工学研究科大学院生らが川越キャンパスに自生する寒椿、すみれ等、200種類以上の花・木の実を蒐集、それらの野性酵母を使いアルコール耐性能等の試験の結果、「ホトケノザ (*Lamium amplexicaule*, 別名：サンカイグサ)」から分離した酵母が適していることを発見しました。

▼製品の特徴（続き）

分離した酵母菌はSTY（エスティ）と名付け、今回使用した酵母は、ホトケノザから分離した酵母STY28-1株とSTY28-2株になります。

STYは「Sustainable Toyo Yield」または「Sato × Toyo」、「Sake Toyo Yeast」など色々な思いを込めてつけて命名しました。

本学卒業生の佐藤徳哉氏が酒造店専務を務めるご縁から、東洋大学工業技術研究所産学連携プロジェクトとして様々な研究を行い、2021年より醸造を開始、試験醸造を経て製品化されました。



▲川越キャンパスに自生するホトケノザ

▼峯岸准教授の試飲感想



東洋大学理工学部
峯岸宏明准教授

濾過した生酒を味見しましたが、多少酸味がありつつも非常にバランスが良いお酒で、これまでにない芳香がします。飲み方としては「冷酒」向きですが、ロックで飲んだところ、冷酒よりも美味しく感じました。

▼「越生梅林 エスティ」の味わいについて



有限会社佐藤酒造店
専務 佐藤徳哉氏

弊社の酒質にないようなお酒が仕上がりました。酸味と味わいがあり、お燗より冷酒に向いたお酒でした。お酒だけで飲んでもいいですが、様々な料理とペアリングして飲んでも美味しく飲めると思います。

▼有限会社 佐藤酒造店について

弘化元年（1844年）創業。酒蔵の近くには、関東三大梅林のひとつに数えられる「越生梅林」、また蔵元の敷地にも梅林があり、裏手には黒山三滝を源とする越辺川の清流が流れ、その清麗な伏流水を使用し、昔ながらの手造りによる「ふくらみがあり後味の軽い酒」を常に心がけています。主な受賞歴：Made in SAITAMA優良加工食品大賞2023 特別純米酒特別賞受賞、全国燗酒コンテスト第14回（2022年）特別純米酒 金賞受賞等、多数受賞

関連情報を以下よりダウンロードしてご覧いただけます。

<http://doi.org/10.34428/00013127>

・峯岸宏明, 2022, 「東洋大学ブランドの地酒造りのための地産清酒酵母の探索」『工業技術』44: 24-27.

<http://doi.org/10.34428/00013930>

・峯岸宏明, 2023, 「東洋大学ブランドの地酒造りのための清酒酵母の探索と試作開発」『工業技術』45: 31-35.

<https://dentsuprc.jp/toyo0220> pass : toyo

- ・参考資料1_2022年度東洋大学工業技術研究所_賛助会員交流サロン資料
- ・参考資料2_アグリビジネス創出フェア_峯岸准教授ポスター
- ・参考資料3_峯岸准教授作成_川越キャンパス内に自生するホトケノザと井上円了

【報道関係者様からのお問い合わせ先】
東洋大学PR事務局（電通PRC内） 担当：藤田、井藤
MAIL : toyo@group.dentsuprc.co.jp